

第2回 歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース 議事要旨

1. 日時：平成28年10月18日（火）17:00～18:00

2. 場所：官邸4階大会議室

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、松本内閣府副大臣、山本農林水産大臣、萩生田内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、松永内閣官房内閣審議官、蝦名内閣官房内閣審議官、末宗内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、遠藤金融庁監督局長、長屋総務省大臣官房総括審議官、大庭消防庁次長、中岡文化庁次長、北島厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長、佐藤農林水産省農村振興局長、安藤経済産業省商務情報政策局長、栗田国土交通省都市局長、由木国土交通省住宅局長、田村観光庁長官

（有識者・敬称略）

梶浦秀樹（株式会社庵プロデュース代表取締役）、上山康博（株式会社百戦錬磨代表取締役社長）、金野幸雄（一般社団法人ノオト代表理事）、原雅廣（NPO法人匠の町しもすわあきないプロジェクト専務理事）、宮崎晃吉（「HAGISO」・「hanare」代表／東京藝術大学非常勤講師）、村田哲太郎（株式会社スリー・ボックス代表取締役）、渡邊准（株式会社地域経済活性化支援機構常務取締役）

4. 議題：古民家等を活用した魅力ある観光まちづくりの実現に向けた有識者からのヒアリング

5. 議事概要

○原氏より空き店舗の活用を核とした商店街活性化について（資料2）、宮崎氏より空き家を活用したネットワーク型の宿泊施設について（資料3）、上山氏より企業として展開する民泊事業について（資料4）、梶浦氏より古民家等を活用した滞在体験型の観光まちづくりについて（資料5）、村田氏より歴史的建造物を活用した地域活性化について（資料非公表）、それぞれ資料に基づきプレゼン。

○意見交換において、有識者より以下のご発言あり。

【金野幸雄氏】

- ・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの取組を旅館業法など様々な規制が阻んでいる。工夫によりクリアできる規制もあるが、大きな課題が残っている。
- ・取組を全国的に展開するためには、各地でビークルとなる人材を見つけることが重要。

○石井国土交通大臣、菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【石井国土交通大臣】

- ・本日は、お忙しいところ、有意義なご意見を賜りまして、感謝申し上げます。
- ・皆様の発表をお伺いし、全国各地で古民家の再生や活用の取組が進んでいることを改めて認識し、大変心強く思った。また、古民家の活用が地域振興や観光振興に非常に大きな武器になることも改めて認識した。
- ・皆様のような取組が全国各地で広がるよう、本日もいろいろなご意見をいただいたが、関連する制度の見直しや支援のあり方等について、速やかに検討していきたい。
- ・国土交通省としても、関係省庁と連携し、歴史的資源を活用した観光まちづくりを早期に実現するために引き続き取り組んでいきたい。

【菅内閣官房長官】

- ・皆様にはお忙しい中でお越しいただいて、大変貴重な提言をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。
- ・全国で皆様のような方を欲している地域がたくさんあり、さらに、地方自治体で何とかしたいという自治体もたくさんあり、地域と皆様をどのように繋げるか、またバリアの問題などご指摘をいただいた。特に資金面や規制の問題等に対し、ワンストップで対応するなど考える必要がある。
- ・関係省庁においては、皆様の声をしっかりと受け止めて対応することができるように、全力で取り組みたい。

○蛭名内閣官房内閣審議官より閉会

- ・本日の第2回会合はここで閉会する。なお、次回日程は追って連絡する。

以 上